



聖マリアンナ医科大学東横病院

地域とのつながりを大切に

LINK

東横連携だより

No.17

令和2(2020)年6月

病院理念

「生命の尊厳とキリスト教の愛の精神」を重んじ、病める人を癒す、愛ある医療を目指します

就任の御挨拶



聖マリアンナ医科大学東横病院

副院長 古畑 智久

2020年4月1日に聖マリアンナ医科大学東横病院副院長を拝命いたしました。2017年4月に当院に入職し3年が経過し、病院の諸事情について、地域医療について、救急医療について、徐々に理解を深めてきたつもりではございますが、まだまだ至らぬ点が多々あることと存じますので、これからもご指導をいただきたく存じます。

当院の副院長は、医師2名、看護師1名の3人体制であり、私は主に医療安全を担当するように命ぜられております。医療安全というと、インシデント・アクシデント、ハラスメント対

応、医療機器や医薬品の適正使用など、非常に広い分野についての理解が必要であり、しっかりと勉強して臨まねばならないと考えております。

着任後間もなく新型コロナウイルス感染拡大にともなう緊急事態宣言が発せられ、当院でも、日々変わる状況の中での対応に追われているところですが、多方面からご支援、病院職員の頑張りもあり、何とか通常診療体制を維持しているところでもあります。いつ収束するか、いつ感染するかわからぬ不安な状況中にいる医療従事者の方々を医療安全の面から何らか

の形でサポートできるよう知恵をしばっていきたいと思います。

本日は4月20日です。現時点では、緊急事態宣言の効果は確認できていないと思われます。このLINKが皆様のお手元に届くころには、状況が好転していることを切に願うばかりです。コロナウイルス感染拡大で多くの制限を受けておりますが、今だからできることを見つけて、安心で安全な医療を提供できるようスタッフ一同努力して参りますので、今後も変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い致します。



ピロリ菌外来開設のご案内

▶▶▶ ピロリ菌感染症認定医 松久 威史

ピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ）外来を火曜日午後、2020年5月から開設、専門医（松久威史医師）が担当いたします。

胃発癌、NSAIDs・抗血栓療法による消化管出血、子供・孫への感染の予防等の観点から全てのピロリ菌感染者にピロリ菌治療が勧められています。しかし、治療に当たっての問題点には保険治療ではペニシリン系薬剤が使用され、ペニシリンアレルギー（10%の頻度）には治療ができないこと、治療不成功例があること、高齢者等の腎機能低下例では薬剤量の調整が必要であることが指摘されています。

ピロリ菌周辺疾患とも言うべきものもあります。犬、猫等から人に感染し胃MALTリンパ腫等の原因になるピロリ菌以外のヘリコバクター族、ピロリ菌が原因の胃炎とは異なる胃炎（A型胃炎：自己免疫性胃炎）です。

ピロリ菌外来と命名していますが、ピロリ菌及びその周辺疾患の診療を幅広く行います。尚、その特殊性から保険外診療となる場合があります。お困りの際はご利用下さいませように。

（執筆者 内科学特任教授 中嶋 孝司）



ピロリ菌

専門外来一覧 2020.5月現在

診療受付時間 8:30~11:00 / 13:30~16:00 ※土曜日は午前のみです

専門外来	曜日	時間	予約
失神外来	水曜日 木曜日	午後	要
SAS外来	火曜日	午後	要
	木曜日	第1~5 午前 第2・4・5のみ 午後	
ペースメーカー外来	金曜日	午後	要
禁煙外来	水曜日 木曜日	午後	要
CGM外来	月曜日~金曜日	10時~12時	要
腎症外来	水曜日 (第1・3)	午前	初診時は 代内初診を予約
フットケア外来	月曜日	午後	初診時は 代内初診を予約
不整脈外来	金曜日 (第2・4)	午後	要

専門外来	曜日	時間	予約
ボツリヌス治療外来	火曜日	午前	要
脳血管内治療外来	月曜日 水曜日	午前	要
神経難病外来	月曜日 火曜日	午後	要
頭痛外来	木曜日	午後	なくても可能
心臓血管外科	金曜日(第2)	午後	要
肥満外科外来	水曜日	15時~	要
ヘルニア外来	水曜日	15時30分~	要
肝臓疾患外来	金曜日(第2)	午後	要
ピロリ菌外来	火曜日	午後	要



脳血管内治療センターを設立しました

▶▶▶ 副院長(医療支援・連携室担当) 植田 敏浩
脳神経・脳卒中センター長

2020年の新年度が始まりましたが、例年では入学式や入社式などが行われ、晴れやかな気持ちとなるどころですが、残念ながら今年は新型コロナウイルスの感染拡大が続き、先の見えない大きな不安を抱える時期となってしまいました。4月7日緊急事態宣言が発令され、当初は1ヶ月間の予定でしたが、今回のLINKが発行される時期に果たしてどのような状況なのか、予断を許しません。

この非常事態において、地域医療に関わるすべての医療関係者の方々に感謝申し上げますと共に、皆様方そしてご家族のご健康をお祈り申し上げます。当院は感染症指定医療機関ではございませんが、通常の救急医療並びに外来診療は継続しております。当院で提供できます医療を通常通り継続させていくことが、地域

における当院の役割と考えております。

さて当院脳神経・脳卒中センターは、昨年秋に日本脳卒中学会より「一次脳卒中センター」として認定を受け、急性期脳卒中に対する高度医療に益々力を入れていく所存です。さらに当院では、脳血管障害のカテーテル治療の進歩に合わせて、さらに本治療のレベルアップを目指し、本年4月に「脳血管内治療センター」を設立しました。急性期脳梗塞に対する血栓回収療法、頸動脈や頭蓋内動脈狭窄に対するステント治療、脳動脈瘤に対する塞栓術などの最新医療を24時間体制で地域に皆様方に提供し、また専門医を目指す医師の教育機関としての役割も担って参ります。今後とも皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。

新任・着任医師紹介



西村 正成 (にしむら まさしげ)

専門 消化器外科

出身 2011年(平成23年)
帝京大学卒

専門医・認定医

日本外科学会専門医
日本消化器外科学会専門医
消化器がん外科治療認定医



荒賀 崇 (あらが たかし)

専門 脳神経内科

出身 2014年(平成26年)
聖マリアンナ医科大学卒

専門医・認定医

日本内科学会認定医、医学博士



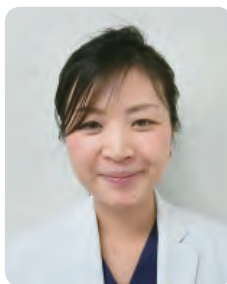
鈴木 知美 (すずき とみみ)

専門 循環器内科

出身 2013年(平成25年)
東邦大学卒

専門/担当分野

循環器内科一般、心臓超音波



白石 絵莉子 (しらいし えりこ)

専門 婦人科

出身 2010年(平成22年)
北里大学卒

専門医・認定医

産科婦人科学会専門医
産婦人科一般、生殖内分泌



中村 健太郎 (なかむら けんたろう)

専門 婦人科

出身 2014年(平成26年)
聖マリアンナ医科大学卒

専門/担当分野

産婦人科一般



佐久間 悠宇 (さくま ゆう)

専門 放射線科

出身 2017年(平成29年)
昭和大学卒

専門/担当分野

放射線科

緊急のご紹介について

当院は救急指定病院として地域住民や地域医療に貢献すべく、各センターがホットラインを備え、救急隊や近隣の医療機関からの要請に対し24時間365日体制で的確な診断、迅速な治療を行うための体制を整えております。

医療機関専用・各センターホットライン(医師直通) 各センターの医師が直接対応いたします(24時間)

脳神経・脳卒中センター 080-5498-9536
消化器病センター 080-5498-9516
心臓病・失神センター※ 080-5498-9493

※心臓病・失神センターにおいては、右記の通りホットラインの対応しております。
ご理解・ご協力をお願いいたします。

	月	火	水	木	金	土	日
8:30~17:00	○	○	○	○	○	○	×
17:00~ 8:30	×	○	×	○	×	○	×

救急外来

TEL:044-722-2121(代表) FAX:044-722-1771(救急外来)

通常の診療・検査予約

- ① お電話にてご希望日時を相談してください ▶ TEL:044-722-2216 (医療機関専用・連携室直通)
- ② 紹介状(FAX用)をFAX送信してください ▶ FAX:044-733-6658 (医療機関専用・連携室直通)
- ③ 本予約後、予約票をFAXにて返送いたします ※原則30分以内に返送いたします

電話・FAX
対応時間

平日 8:30~18:00 / 土曜日(第2・4・5) 8:30~12:30

医療支援連携室 受付時間(電話・FAX)		CT・MRI 電話受付	
平日	8:30~18:00	電話受付時間	18:00まで
土曜日(第2・4・5)	8:30~12:30	撮影の最終予約時間枠	18:30まで

※FAXは24時間稼働しております。※時間外のFAX返送は、翌日または休診日明けとなります。
※CT・MRIの17時以降の撮影につきましては、COVID-19の影響によりご希望に添えない場合がございます。
詳しくはお電話にてお問合せください。



お知らせ

例年6月に開催しております地域連携の会は、COVID-19の影響により、今秋開催に変更させていただいております。
詳細が決まり次第あらためてお知らせいたします。

聖マリアンナ医科大学東横病院

〒211-0063 神奈川県川崎市中原区小杉町3-435
TEL:044-722-2121(代表)
TEL:044-722-2216(医療機関向け・連携室直通)
FAX:044-733-6658(連携室直通)

東横病院

検索

編集
後記

いつも東横病院医療支援・連携室をご活用いただきお礼申し上げます。
新年度を迎えましたが、新たなスタートとは言えない状況に心が落ち着かない日々が続いています。当院では医師をはじめ院内スタッフ一丸となり、患者様の不安を少しでも少なくすることを念頭に置き、近隣の諸先生方とともに連携を取り合いつつ、診療継続に努めてまいります。厳しい情勢ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。(S.K)